

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社博展

コード番号 2173 URL <http://www.hakuten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田口 徳久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 玉井 昭

TEL 03-6278-0010

四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,596	25.9	304	97.2	304	63.7	175	3.1
24年3月期第3四半期	2,857	△3.0	154	126.3	185	206.8	170	246.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	51.59	49.75
24年3月期第3四半期	50.39	49.51

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	1,892	927	48.9	271.62
24年3月期	1,984	785	39.5	230.03

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 925百万円 24年3月期 783百万円

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期(予想)における期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

### 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	15.8	260	58.3	250	29.7	150	△22.4	44.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	3,408,000 株	24年3月期	17,040 株
----------	-------------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	— 株	24年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	3,408,000 株	24年3月期3Q	16,916 株
----------	-------------	----------	----------

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の実績は、今後様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
4. 補足情報 .....	7
生産、受注及び販売の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興による内需押し上げが引き続き景気を下支えし、政権交代による景気回復への期待感が市場に表れ始めたものの、日中摩擦の高まりに伴う輸出の不振、海外経済の減速等の影響を受け、依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社の属する広告・イベント業界におきましては、顧客企業における広告宣伝投資、販促関連投資に一部復調の兆しが見られました。

また、当社の主要事業領域でありますFace to Faceマーケティング市場におきましては、企業の販促・プロモーション施策において、Face to Faceマーケティング手法への見直しの流れが徐々に表れ、力を入れ始める企業も増加してまいりました。

このような環境の中で当社は、一つひとつの展示会出展や販促イベントを企画・制作・運営する「点」のサポートから、年間を通じてマーケティングを組み立て、実行していく「線」のサポート、そして、お客様の見込み顧客を増やし、売上増加に寄与する「面」のサポートへと、企業のマーケティングサポートをより手厚く行うことのできる企業に成長すべく、取り組みを進めてまいりました。

出展サポートサービスにおきましては、従来からの強みである企画力、デザイン力をさらに強化すべく、提案品質の向上に取り組み、大型案件を中心に受注状況が好調に推移いたしました。

また、競争力を高めシェアを拡大させるために、展示会等への出展における空間づくりだけでなく、会期中の運営・演出や、事前の集客サービス、事後の効果測定や来場者へのアフターフォロー等、出展効果を最大化するためのサービスの強化にも取り組んでまいりました。

主催サポートサービスにおきましては、従来から取り組んでいる合同展示会の事務局サポートやプライベートショーのトータルサポートにおいて品質を向上させ、新規顧客の獲得に注力してまいりました。

さらに、新たなイベント分野の開拓と顧客ニーズの掘り起こしを目的とし、顧客企業のセミナーやカンファレンス等のマネジメント・サービスを専門に行う部署を新設いたしました。当第3四半期より本格的な稼働を開始し、セミナー&カンファレンス分野における新規イベントの創出に注力してまいりました。

一方、デザイン部門や制作部門におきましては、内製稼働率を向上させ生産性を高めるとともに、原価低減活動等も積極的に行い利益率の向上に一丸となって取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は35億96百万円(前年同四半期比25.9%増)、営業利益は3億4百万円(前年同四半期比97.2%増)、経常利益は3億4百万円(前年同四半期比63.7%増)、四半期純利益は1億75百万円(前年同四半期比3.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における財政状態は、資産合計18億92百万円(前事業年度末比4.6%減)、負債合計9億64百万円(前事業年度末比19.6%減)、純資産合計9億27百万円(前事業年度末比18.1%増)となりました。

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は16億45百万円(前事業年度末比72百万円減少)となりました。これは、手形取引が増加したことにより受取手形が前事業年度末比22百万円増加したものの、売掛金が前事業年度末比90百万円減少したことが主な要因となっております。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は2億47百万円(前事業年度末比19百万円減少)となりました。これは、減価償却が新規取得を上回ったこと及び本社事務所の大幅なりニューアルプロジェクトに着手したことに伴う減損損失を計上したこと等により有形固定資産が前事業年度末比16百万円減少したことが主な要因となっております。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は6億86百万円(前事業年度末比1億54百万円減少)となりました。これは、未払法人税等が前事業年度末比60百万円増加したものの、買掛金が前事業年度末比1億40百万円及び賞与引当金が前事業年度末比45百万円それぞれ減少したことが主な要因となっております。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は2億78百万円(前事業年度末比79百万円減少)となりました。これは、約定返済が新規借入を上回ったことにより長期借入金が前事業年度末比79百万円減少したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は9億27百万円(前事業年度末比1億42百万円増加)となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が前事業年度末比1億41百万円増加したことが主な要因となっております。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における業績経過は、概ね計画通りに推移しているため、通期の業績予想につきましては、平成24年10月31日の第2四半期決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ207千円増加しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	789,305	783,929
受取手形	43,278	66,000
売掛金	760,026	669,705
仕掛品	51,205	60,701
原材料及び貯蔵品	1,401	2,487
その他	83,739	72,356
貸倒引当金	△10,735	△9,899
流動資産合計	1,718,220	1,645,281
固定資産		
有形固定資産	155,383	138,847
無形固定資産	12,250	9,744
投資その他の資産		
その他	101,049	100,479
貸倒引当金	△2,276	△1,940
投資その他の資産合計	98,772	98,539
固定資産合計	266,406	247,132
資産合計	1,984,626	1,892,413
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	298,075	157,152
1年内返済予定の長期借入金	276,271	261,444
未払法人税等	38,732	99,319
賞与引当金	95,145	49,413
工事補償引当金	204	224
その他	132,318	118,581
流動負債合計	840,748	686,135
固定負債		
長期借入金	358,213	278,709
その他	470	—
固定負債合計	358,683	278,709
負債合計	1,199,432	964,844
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	158,203	158,203
資本剰余金	138,203	138,203
利益剰余金	487,428	629,155
株主資本合計	783,834	925,561
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	119	103
評価・換算差額等合計	119	103
新株予約権	1,240	1,903
純資産合計	785,194	927,569
負債純資産合計	1,984,626	1,892,413

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,857,360	3,596,589
売上原価	1,843,527	2,386,692
売上総利益	1,013,833	1,209,896
販売費及び一般管理費	859,450	905,519
営業利益	154,383	304,376
営業外収益		
受取利息	8	25
受取配当金	138	62
違約金収入	3,026	2,112
雑収入	36,983	4,446
営業外収益合計	40,158	6,647
営業外費用		
支払利息	8,588	6,253
雑損失	92	515
営業外費用合計	8,681	6,768
経常利益	185,859	304,256
特別損失		
固定資産除却損	681	—
減損損失	—	6,029
特別損失合計	681	6,029
税引前四半期純利益	185,177	298,226
法人税、住民税及び事業税	14,694	105,118
法人税等調整額	—	17,300
法人税等合計	14,694	122,418
四半期純利益	170,482	175,807

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当社は、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしていません。

## (2) 受注状況

前第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

当第3四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	2,979,208	97.0	805,710	92.4
合計	2,979,208	97.0	805,710	92.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

当第3四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	3,749,554	125.9	1,290,528	160.2
合計	3,749,554	125.9	1,290,528	160.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

前第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	2,857,360	97.0
合計(千円)	2,857,360	97.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	3,596,589	125.9
合計(千円)	3,596,589	125.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。